

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
1	熊谷 聡一郎 田代 敦士 川崎 雅人 本谷 貴 神谷 智恵美 桑野 愛 橋口 まりこ	「人間と社会」 (東京都教育委員会著作準教科書)
○ 必履修 学校必履修 必修選択 自由選択		

◆学習の目標

- ・自己の在り方を考え、自分の判断基準をよりよいものに高め、自分と他者とが相互に幸せになるために、よりよい生き方を選び行動できる能力や態度を育てる。

◆主な学習内容・方法

- (1) 地域の行事などへの参加や体験活動を通して、他社との関係を学ぶなかで自己の生き方や在り方を考える。
- (2) テーマに沿ってグループワークを行い、他者の考えを知るとともに自己の在り方や生き方を考える。

◆到達目標と評価の観点

〔標準〕

- ・主題に関する内容を理解すると共に、主題に対する自分の考えや思いをまとめることができる。

〔応用〕

- ・自己をしっかりみつめ内省する力を身につけると共に、人間関係形成能力や社会形成能力を高めることができる。

〔評価の観点〕

- ・出席状況（意欲態度）及び課題やワークシートの提出などをもとに評価する。

◆評価の方法

- ・「活動への参加状況や取り組み方」「感想文や報告書などの課題提出状況」「ワークシートなどに対する取り組み状況」などを総合的に判断する。

◆年間予定授業時間

予定時数	3 5 時間	1 学期（6 時間）	2 学期（2 5 時間）	3 学期（4 時間）
------	--------	------------	--------------	------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・東京都教育委員会作成の「人間と社会」の関連ページを読む。
- ・地域の行事等へ参加する。
- ・ワークシートなどをもとに話し合い活動をする。
- ・多様な講師の話を受講する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	○役割と責任を考 える	2	・自己に求められている「役割 と責任」について考えるとと もに「企業の社会的責任」に ついて考える。 ・ネットと情報リテラシーにつ いて考える ・支え合いの大切さについて考 える。	・自分に求められる「役 割と責任」について しっかりと考えを深 める。
	5	○ネット時代	2		
	6	○支え合う社会	2		
	7		2		
2 学期	8	○働くことの意義	3	・早期離職の問題と働くとはど ういうことかを考える。	・働くことの意義につ いて考え、自分自身の 職業観がもてるよう になる。 ・地域の行事参加を通 して地域貢献につい ての異議を理解する。 ・18歳に選挙権年齢 が引き下がった意義 を考え、主権者になっ ていく自覚をもつ。
	9		3		
	10	○地域社会を築く	3	・地域行事への参加を通して、 地域の一員として地域社会 を築くことの意義を考える。	
	11	○体験活動 (社会参加)	16		
	12	○主権者としての 自覚	3		
3 学期	1	○文化の多様性	2	・異文化理解の大切さについて 考える。 ・人生のワーク・ライフ・バラ ンスについて考える。	・新聞資料などをと おして、文化の多様性を 考察できるようにな る。
	2	○人生とワーク・ラ イフ・バランス	2		
	3				